地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所

初心者向け

機器利用技術講習会のご案内

【３軸振動計および手腕振動測定システム】

～　振動工具などのハンドル部に生じる振動の「周波数補正
振動加速度実効値の三軸合成値」を計測できます。　～

◆日　　時：平成２５年１２月１１日（水）
①９：１５～１０：４５　　②１５：００～１６：３０
各コース（①、②）の講習時間は**約１時間３０分**です。

◆場　　所：地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
和泉市あゆみ野2-7-1　TEL:0725-51-2518
当日は、講習開始時刻前に、当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前まで、ご参集ください。担当者が講習会場にご案内いたします。

◆定　　員：各コース（①、②）とも、３名まで。
※ 受講票は発行いたしません。定員を超えたときは、お断りする方のみ、ご連絡いたします。
※ 受講にはＴＲＩカードが必要となります。まだお持ちでない方は当日お申し込み頂くことができますので、担当者までお申し出ください(無料)。

◆費　　用：無料

◆申込み先：地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス課
※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願い致します。メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせ致します。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させて頂きますので、ご了承下さい。

◆対象機器：３軸振動計および手腕振動測定システム

《振動工具を製造・輸入する事業者の皆様は必見です。》

手腕振動の人体への影響の一つとして手指白指症状（レイノー現象）があります。このような健康被害を抑制するためには、振動工具等のハンドル部に生じる振動の「周波数補正振動加速度実効値の三軸合成値」を計測し、日振動暴露量を算出して管理することが大切です。(JIS B 7761-3 など参照)

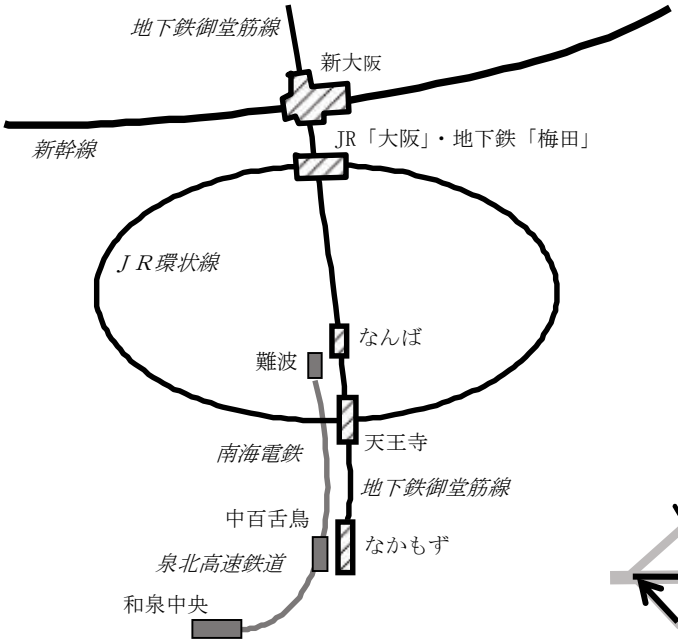
厚生労働省などが推進する振動障害予防対策を実践するには、本振動計および システムで計測し、振動工具の取扱説明書やカタログなどへの表示が必要です。是非、この機会に聴講してはいかがですか。

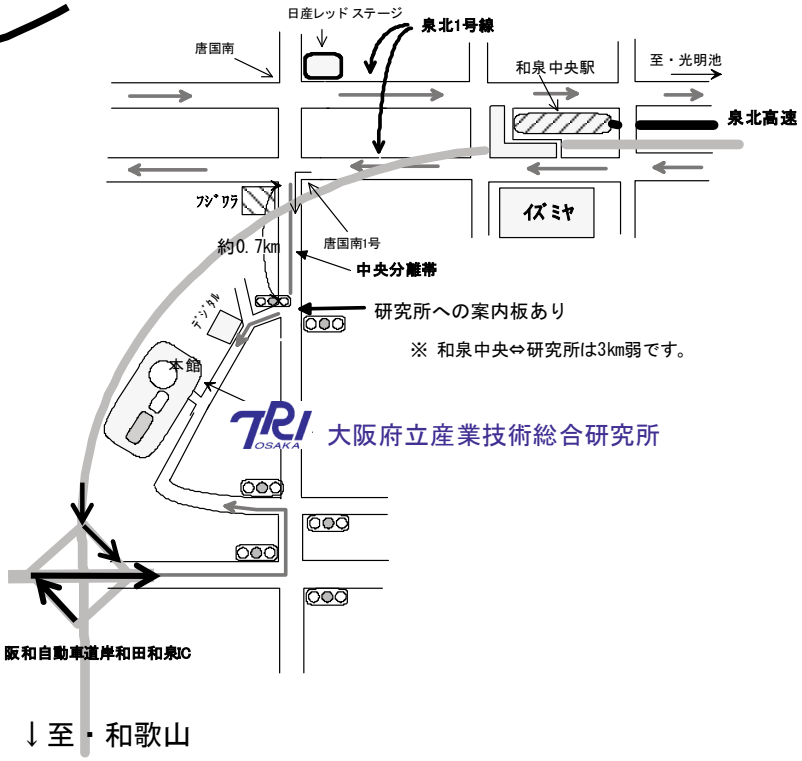
［参考文献］JIS B 7761-2　手腕系振動　第２部：作業場における実務的測定方法
JIS B 7761-3　手腕系振動　第３部：測定及び評価に関する一般要求事項
JIS B 7762-1～14　手持ち可搬型動力工具　－ハンドルにおける振動測定方法－
振動工具の「周波数補正振動加速度実効値の３軸合成値」の測定、表示等について、厚生労働省労働基準局・都道府県労働局・労働基準監督署
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-1a.pdf

［仕　様］　３軸振動計：VM-54（リオン株式会社製）
圧電式加速度ピックアップ：PV-97I（リオン株式会社製）
手腕振動測定カード：VX-54WH（リオン株式会社製）

◆講習担当：製品信頼性科　主任研究員　中嶋　隆勝

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所交通案内図





和泉中央駅バス乗り場５番から
研究所方面へのバスが出ております

和泉中央駅発バス時刻
9 時～15 時：毎 0，30 分

FAX　0725-51-2509

機器利用技術講習会申込書　　テーマ「３軸振動計および手腕振動測定システム」
開催日：平成２５年１２月１１日（水）

企　業　名	
所　在　地	（〒　　）
参　加　者	所属：　　役職：　　氏名： ※　ＴＲＩカードをお持ちの方は、恐れ入りますが、氏名の後に「Ｋ番号」のご記入もお願い致します。
連　絡　先	TEL：　　FAX：
希望コース（第１希望、第２希望のコース番号をご記入ください）	**第１希望：　　第２希望：** ①　１２月１１日（水）　９：１５～１０：４５ ②　１２月１１日（水）１５：００～１６：３０
講習会の情報源	①産技ＨＰ ②産技メール配信 ③産技パンフ ④他機関の情報 ⑤その他（　　）

講習会の案内など、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」の配信をご希望の方は、下記にメールアドレスをご記入下さい。

※　上記参加申込書に記載された内容につきましては、本講習会の参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。

①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。

②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。